

2022年3月10日

## MCC U.S・ウクライナ支援活動献金のお願い

JMF（日本メノナイト宣教会）の諸教会と主にある兄弟姉妹へ

JMF運営委員長 岡崎新太郎

コロナ・ウィルス・オミクロンの国内感染がいまだ収束しない困難のなか、教会で礼拝を維持し、兄弟姉妹の交わりを保ち、宣教の業を進められていること感謝をもってお聞きしています。

2月24日のロシア軍の陸、海、空からのウクライナ侵攻とウクライナの人々の都市、市民生活の破壊、死傷者の増加、隣国への避難民の殺到、戦闘の激化とウクライナとロシア軍の兵士の死、3月4日の原子力発電所への攻撃などの報を悼みと悲しみをもって受けとめています。

歴史的平和教会であるメノナイト・兄弟団の信徒としてマタイ5：7「憐れみ深い人々は、幸いである。その人たちは憐れみを受ける。」マタイ5：9「平和を実現する人々は幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」の御言葉に立ち、ウクライナでの即時の停戦と、人々の生活の回復、和解への働きの進展を願い祈ります。

MCC（メノナイト中央委員会）U.Sのウクライナ支援の訴えと献金のアピールに対しJMF運営委員会は次の判断をいたしました。

1. 災害支援基金の残金54万円の中から40万円を緊急支援献金として送る。
2. JMF諸教会にJMF経由、MCC宛の支援献金のアピールをする。  
MCCのウクライナでのこれまでの支援内容、現在の動きについての詳細はホームページ、<https://mcc.org/stories/crisis-ukraine> をご覧ください。  
短く要約しますと以下の通りです。

- (1) MCCの働きは1920年ウクライナの食料危機・飢餓の時、メノナイト教会がマタイ25章40節の御言葉「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたのである。」に促されて支援活動を始めたことがスタートであった。
- (2) 2013年のウクライナ東部での紛争以来MCCのワーカーは現地の教会と人々と協力しながら、生活支援、心理的なサポート、和解の働きをしてきた。
- (3) 2月24日のロシア軍侵攻により、従来の支援活動を長期にわたってスケールアップしてゆくことになった。避難民のサポート・住居の提供、生活必需品の提供、心のサポート、トラウマの癒しなどである。現在、MCCのワーカーは状況によりある者は退避しあるものは留まって現地教会と住民と連絡を取りつつ活動している。今後、ウクライナ国内の活動が自由になることを期待して、支援物資の集積を始めている。
- (4) 三つのお願い。  
Pray: 祈ること ウクライナの人々とウクライナ・ロシアの兵士たち、政治的リーダーのために。  
Give: 与えること・献金を寄せて下さること。  
Advocate: それぞれの国の政府に対して和解の働きを強めるよう請願すること。

祈りの中にウクライナの人々に主の光が届くことを願いつつJMFを通してのMCC U.S・ウクライナ支援活動の献金をささげてくださいたいと願います。献金をお送りいただく際は下記の口座をお願いします。

主の平和

ゆうちよ銀行 振替口座 02790-3-23369

加入者名：日本メノナイト宣教会

通信欄には必ず「ウクライナ支援献金」と明記してください。